

モノづくり・創業部会（第6回）

平成19年11月15日（木） 17時～19時
帯広市役所 10階第5会議室B

1 開会 （ 全体司会： 運営責任者 ）

2 議事

（1） 産業クラスターについて（続）

※ 田中史人アドバイザーの産業クラスター事例より

（2） 第7回部会の開催日程（出欠）確認について

参： 平成19年12月3日（月） 13時30分～15時30分

市役所10階第5会議室B

（3） その他

3 閉会

モノづくり創業部会資料 11月15日

帯広市の産業クラスター形成促進事業に対する分析

■事業概要

基幹産業の農業を核に幅広い産業間、産学官の連携を深め、産業群を育成する。

■具体的事業

帯広産業クラスター研究会への補助

地場産業振興補助金

十勝産業振興センター建設補助

■課題

- ・原料を大消費地に供給する役割を担ってくることで、成り立っており、農産物を地元で加工して付加価値を高めて域外に売っていくことの意義について地域内の共通認識が不足。
- ・生産・製造・販売の連携のためコーディネータ的役割を務める人材確保が必要。
- ・新たな取組に対する企業側の慎重姿勢が見受けられる。
- ・初期段階の取組を増やし、その取組から次の過程へとつなげていく誘発が必要。

■個別事業

◎帯広産業クラスター研究会

- ・第1ステージ（H12～19年度） コーディネーター的役割が特定に集中し、取組テーマも依拠。取組テーマが枯渇し、異業種交流にとどまる傾向
- ・第2ステージ（H20～） 個別具体的で専門性の高い、スピード感のある取組に向けた脱皮が必要であるため、新たな試験研究機関、大学等との連携の可能性を探り具体的戦略を立案していく。

◎地場産業振興補助金

- ・制度のPR不足、フォロー体制の欠如、金銭的な補助に止まっている。
- ・事業化、商品化に向けたトータル的な支援体制が必要。
- ・取組を形にするため、3年間継続補助を明記していく方向。

◎十勝産業振興センターの建設

- ・平成18年4月オープンのため、存在を知らない市民も多く、PRが不足。